ウ　製剤（その２）

㋐　成分規格

本品は、硫酸コバルト（結晶）製造用原体に、賦形物質を混和した粉末である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110％に相当する硫酸コバルト（$CoSO_4$・７H_2O）を含む。

確認試験

①　本品の表示量に従い、硫酸コバルト（結晶）製造用原体１gを含む量を量り、水100mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、硫酸コバルト（結晶）製造用原体の確認試験①を準用する。

②　本品の表示量に従い、硫酸コバルト（結晶）製造用原体１gを含む量を量り、水10mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、硫酸コバルト（結晶）製造用原体の確認試験②を準用する。

定量法　硫酸コバルト（結晶）（$CoSO_4$・７H_2O）約0.5gを含む量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、水20mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過し、ろ紙上の残留物を水10mLずつで４回洗い、ろ液及び洗液を合わせ、100mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて100mLとする。以下硫酸コバルト（結晶）製造用原体の定量法を準用する。

0.01mol/Lエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム溶液１mL＝2.811mg$CoSO_4$・７H_2O

㋑　保存の方法の基準

硫酸コバルト（結晶）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

⑼⑵　硫酸鉄（乾燥）

ア　製造用原体

㋐　成分規格

含量　本品は、定量するとき、硫酸鉄（$FeSO_4$）80.0％以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、灰白色の粉末で、臭いはない。

②　本品は、新たに煮沸し冷却した水に溶けやすく、エタノールにほとんど溶けない。

③　本品は、吸湿性である。

確認試験　本品の水溶液（１→50）は、第一鉄塩及び硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

①　重金属　本品1.0g（0.95～1.04g）を磁製皿に入れ、王水５mLを加えて溶かし、水浴上で蒸発乾固する。残留物に６mol/L塩酸試液５mLを加えて溶かし、分液漏斗に移す。磁製皿を６mol/L塩酸試液５mLずつで２回洗い、洗液を分液漏斗に合わせ、エーテル40mLで２回、次に、エーテル20mLで振り混ぜた後、静置し、分離したエーテル層を除く。水層に塩酸ヒドロキシルアミン0.08g（0.075～0.084g）を加えて溶かし、水浴上で10分間加熱し、放冷した後、強アンモニア水を滴加して溶液のpHを３～４に調整し、水を加えて50mLとし、これを試料溶液とする。磁製皿に鉛標準液4.0mLを入れ、王水５mLを加え、以下試料の場合と同様に操作し、これを比較液として重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない。ただし、試料溶液のpHを３～４に調整したとき沈殿を生ずる場合には、pHを1.8～2.0に調整し、以下同様の試験を行う（40μg/g以下）。

②　ヒ素　本品0.6g（0.55～0.64g）を量り、ヒ素試験法第１法により試料溶液を調製し、装置Aを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（3.3μg/g以下）。

乾燥減量　2.0％以下（５g，105℃，２時間）

定量法　本品の約0.4gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、水20mL及び希硫酸20mLを加えて溶かし、リン酸２mLを加え、30秒以内に0.02mol/L過マンガン酸カリウム溶液で滴定する。

0.02mol/L過マンガン酸カリウム溶液１mL＝15.19mg$FeSO_4$

㋑　保存の方法の基準

遮光した密閉容器に保存すること。

イ　製剤（その１）

㋐　成分規格

硫酸鉄（乾燥）製造用原体の成分規格を準用する。

㋑　保存の方法の基準

硫酸鉄（乾燥）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

ウ　製剤（その２）

㋐　成分規格

本品は、硫酸鉄（乾燥）製造用原体に、賦形物質を混和した粉末である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110％に相当する硫酸鉄（$FeSO_4$）を含む。

確認試験　本品の表示量に従い、硫酸鉄（乾燥）製造用原体１gを含む量を量り、アセトン20mL及び水30mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、硫酸鉄（乾燥）製造用原体の確認試験を準用する。

定量法　硫酸鉄（$FeSO_4$）約0.4gを含む量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、アセトン10mL、水20mL及び希硫酸20mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。残留物は、水10mLずつで３回振り混ぜ、同じろ紙でろ過する。ろ液を合わせ、リン酸２mLを加え、以下硫酸鉄（乾燥）製造用原体の定量法を準用する。

0.02mol/L過マンガン酸カリウム溶液１mL＝15.19mg$FeSO_4$

㋑　保存の方法の基準

硫酸鉄（乾燥）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

⑼⑶　硫酸銅（乾燥）

ア　製造用原体

㋐　成分規格

含量　本品は、定量するとき、硫酸銅（$CuSO_4$）85.0％以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、青白色の結晶性の粉末で、臭いはない。

②　本品は、水に溶けやすく、グリセリンにやや溶けにくく、エタノールにほとんど溶けない。

③　本品の水溶液（１→20）のpHは、3.0～4.5である。

④　本品は、吸湿性である。

確認試験　本品の水溶液（１→10）は、銅塩及び硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

①　溶状　本品1.0g（0.95～1.04g）に水20mLを加えて溶かすとき、その溶液は、青色で、澄明でなければならない。

②　鉛　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、水を加えて20mLとし、試料溶液とする。また、鉛標準液1.0mLを量り、水を加えて20mLとし、標準液とする。試料溶液及び標準液について鉛試験法（原子吸光光度法第１法）により鉛の試験を行うとき、その量は、10μg/g以下でなければならない。